フィリピン鍼灸治療ボランティア支援活動報告

平成29年3月20~24日

陽だまり"はり・きゅう"治療室 中野朋儀



マニラから北西へ車で約4時間ほどの距離にスービックがあります。

中華街(キアポ)は、空港から車で30~40分の所にあります。





生鮮食品市場



漢方薬局







フィリピン・スービックの小さな 村の診療所(バルナバクリ ニック)は、地域住民の妊産 婦診療と出産、一般診療を無 料で診療を続けています。20 OO年に助産院を開設し妊婦 だけでなく身体の不調を訴え る数しい人々が集まり、住民 署名活動により2003年に公 共の診療所として認められま した。午前中は、診療にて妊 産婦検診や一般診療を行い 午後に山村・漁村へ往診に 廻っています。



2階のクリニック受付



2階のクリニック内



バルナバクリニック

・1階:マタニティークリニック

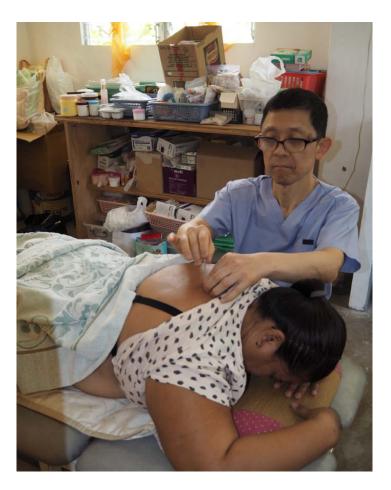
・2階:クリニック



胃の痛みに対する治療



右足背の痛み(感染)に対する治療



咳に対する治療



右足関節痛に対する治療



精神不安症、手のしびれに対する治療



- •8才、女児
- ・育児放棄による栄養失調
- ·発熱(40℃)·

寄生虫感染

鍼灸治療で解熱できないかのオーダー。

活動スケジュール

1日目

午前:クリニック内施術例

- •右足関節痛
- •7才発熱
- •左下腹部痛
- •咳
- •左下腿部痛
- 手のしびれ、踵の痛み
- •肺水腫
- ・腎結石による右脇痛
- 坐骨神経痛
- •右側腹部痛(手術後)、頻尿

午後:農村部へ往診巡回

3日目

午前:スービック市場 ごみの山へミルク支援

午後:漁村部へ往診巡回

2日目

午前:クリニック内施術例

- 右頚部痛、肩の痛み
- •咳:母親、乳幼児、9才児
- •狭心症
- ・右足背の痛み(感染)
- ・精神不安症、手のしびれ
- 小児の咳
- ・起立性めまい
- 胃の痛み
- ・乳幼児手足の汗(多汗症)

午後:農村部へ往診巡回





WISH HOUSE(希望に満ちる家) 貧困のため就業出来ない子どもたち が就労から抜け出して復学できる場所 として設立されました。読み書き、自立 支援、給食の実施などしています。 私たちと同日日に日赤の看護学生が 支援に訪れていました。日赤の学生は、 交代で午前中クリニックで実習も行っ ていました。

1日の生活水準は、100ペソ(220円)程で米があれば生活はできるとのことです。山岳部(寒いので)の人々は真面目に働くようですが、平地部の人々は裸でも生活できるのであまり仕事をしないようです。



自然木材や廃材を利用して建てた家が多く、水は汲み井戸を共同利用していたり、電気は通っているが電力供給不足で時々停電がおきたりしているようです。





外傷部(仙骨)へお灸の施行



事故後の半身麻痺



小児麻痺の治療



小児の咳の治療



TOTAL EDITAL STATE OF THE PARTY OF THE PARTY

腰の痛みの治療



日赤看護学生さんが血圧を取ってます。







右片麻痺の治療





足背の痛みの治療

右奥の部屋に、産後1週間で心肥大があり出産後の感染で40°Cの発熱、右下腹部痛を訴えている。助産師より解熱のオーダーがあり鍼灸治療を試みた。



スービック市場



精肉・生魚売り場



野菜・果物売り場





ゴミが燃やされ煙が立ちこめる中、 住民が作業しています。



ハスラーハン地区 ごみの山貧困集落



ミルク支援 貧困だから、ここに 住んでいるのでなく 生きるための手段 としてお金に換金 できる物を拾い生 活している。





オグサソル地区





結核罹患後の咳







マタイン地区





空港から展望(首都圏)



マニラ国際空港 (ニノイアキノ国際空港)